

平成27年6月23日  
国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所

## 日々のチェックで現場事故の根絶を

～三河港神野地区の耐震強化岸壁の現場で安全パトロール実施～

### ●概要

我が国の主要産業である自動車産業を物流面から支えるため、また、地震時において背後圏の緊急物資輸送や完成自動車等幹線物流の継続性確保のため、2014年より三河港神野ふ頭7-4号岸壁（水深12m）を耐震強化構造として整備を行っています。

今回、三河港湾事務所と三河港工事安全連絡協議会のメンバー15名による神野地区耐震強化岸壁の工事現場の安全パトロールを平成27年6月16日（火）に実施しましたのでお知らせします。



【現場パトロールの様子】

### <参考>

対象工事：平成26年度三河港神野地区岸壁(-12m)本体工事(その2)

受注者：あおみ建設(株)

### ●実施内容

別紙

### ●配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、豊橋市政記者クラブ、  
港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

### ●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 保全課長 宮原

Tel 0532-32-3251

Fax 0532-32-5049

三河港湾事務所ホームページ：<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>



みかわこうわん

三河港湾

検索

## ●実施内容

発注者(三河港湾事務所)と当事務所発注工事の受注者で構成する三河港工事安全連絡協議会のメンバー15名(内女性職員1名)が参加し、神野地区耐震強化岸壁の工事現場の安全パトロールを実施しました。

当日は曇りでしたが湿度が高く、参加者は飴をなめるなど熱中症対策をしてパトロールを行いました。

現場は既設鋼矢板の引き抜きや土砂掘削等重機による作業を行っており、不安全な行動や危険個所がないかの確認を行いました。(写真-①)

パトロール後の意見交換では、「作業道路の敷鉄板のぐらつき」や「コーンに付けた表示等の掲示物を見やすくする工夫」などの改善意見があり、早速現場では是正を行いました。

(写真-②)

また、「コーンの色分けによるエリアの危険度の視認化」などの優れた工夫も見られました。

(写真-③)

また、三河港湾事務所からは、過去の事故の事例を紹介して事故防止、特にヒューマンエラーをなくすよう注意喚起を行いました。

これから本格的な梅雨の時期を迎え、暑い季節に熱中症や注意力の低下による事故の発生が懸念されることから同様の安全パトロールを月1回定期的を実施するとともに、引き続き工事現場の安全対策強化に取り組んでまいります。

## ●写真-①:パトロール実施の様子



【安全通路】

●写真-②:改善意見への是正状況  
作業道路の敷鉄板



【是正前:作業道路の敷鉄板のぐらつき】



【是正後:敷鉄板の敷き直し】

掲示物の明確化



【是正前:立入危険箇所の明示不足】



【是正後:バーにより立入禁止の明確化  
カラーコーン全てに危険箇所明示】

●写真-③:危険度の視認化



【優れた工夫:コーン色分けによるエリアの危険度の視認化】  
(左:安全通路 緑コーン , 右:立入禁止区域 赤コーン)